

# 仏教が古墳に もたらした影響



太田市立太田中学校

1年A組3番 荒井千尋



## 1. 調査しようと思ったきっかけ

「仏教が伝来したのは538年だから、ちょうど古墳時代に伝来したのか。」学校で古墳時代について学習したとき、ふと思ったことです。僕はこのことから古墳にも仏教が関わっていそうだなと考え、古墳が好きな父に聞いてみると

「仏教が関わっている古墳もあるよ。」

と言われました。そこで僕は、仏教が関わっているといわれる「**宝塔山古墳**」を調査していこうと思いました。

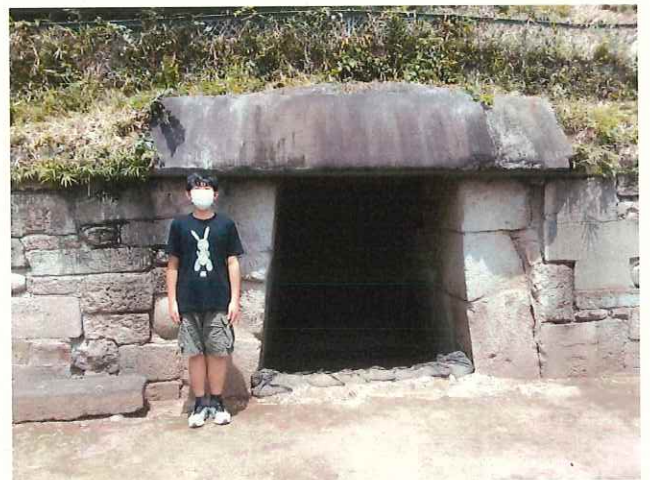
## 2. 調査すること

- ・ 宝塔山古墳と仏教の関わりについて
- ・ 仏教が取り入れられていることが分かった場合、なぜ仏教が取り入れられていたのか
- ・ 仏教が関わっていない古墳との違い

## 3. 調査

### ① 宝塔山古墳

まず、前橋市の総社町にある宝塔山古墳に行きました。宝塔山古墳は全長66mの方墳で、7世紀に造られたと考えられています。階段を登っていくと綺麗な石室があり、中学生ぐらいだと全然入れるような感じでした。中へ入ってみると綺麗に加工された石が壁に積み上げられていて、かなりの有力者だった事が分かります。後で分かったことなのですが、壁には漆喰も塗られていて、この古墳は有力者層の用いる古墳の技術そのままらしいです。その奥の玄室には刳抜式家形石棺（くりぬきしきいえがたせっかん）という棺がありました。光があまり入らず、写りが悪かったので左の石棺は資料館においてあったレプリカです。実際に見るとかなり大きく、2人ぐらいなら入れそうでした。非常にきれいな石で、「どうやって積み上げたのだろう」と思いました。石室を出て、さ



その奥の玄室には刳抜式家形石棺（くりぬきしきいえがたせっかん）という棺がありました。光があまり入らず、写りが悪かったので左の石棺は資料館においてあったレプリカです。実際に見るとかなり大きく、2人ぐらいなら入れそうでした。非常にきれいな石で、「どうやって積み上げたのだろう」と思いました。石室を出て、さ

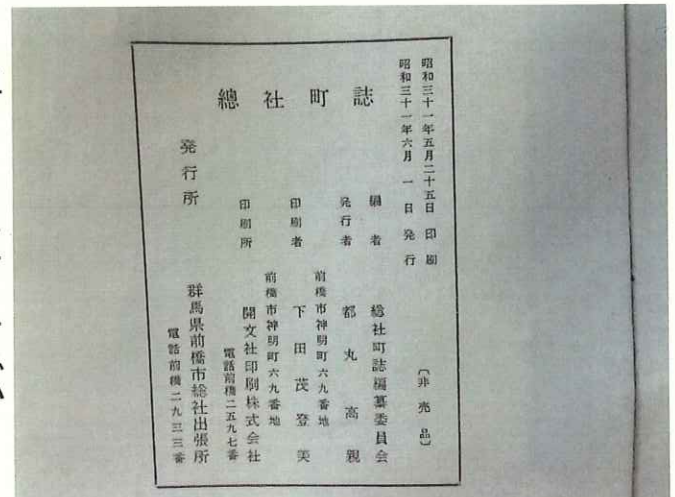


らに階段を登っていくとそこには秋元氏のお墓がありました。十何代にも渡るお墓があり、秋元家は代々宝塔山古墳に埋葬されたのかと思いました。

## ②前橋市総社歴史資料館

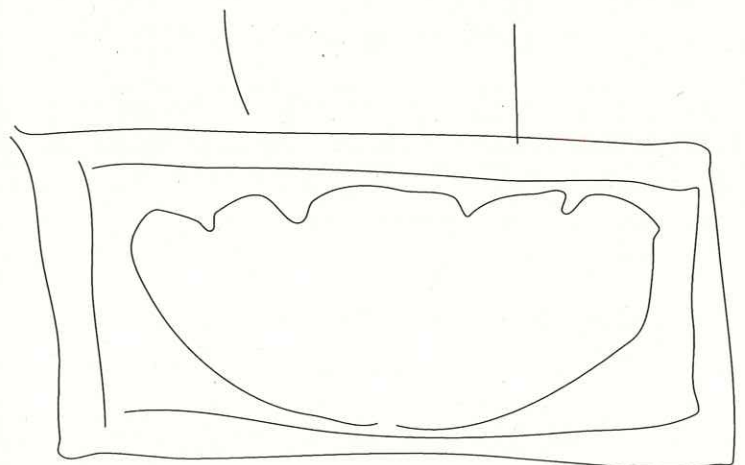
宝登山古墳の次に、近くにある前橋市総社歴史資料館に行ってきました。古い総社町の資料や総社古墳群の出土品などが置いてある場所です。そこで僕は「総社町誌」という冊子を見てみました。すると最初あたりのページの史跡と文化財と書いてある場所に、

「石棺 史跡宝塔山古墳の奥深くに安置され、4本の脚付の如くくりぬかれている。その形が格狭間に似ているので古墳文化と仏教文化を結ぶ貴重な遺物である。」



(「総社町誌」総社町誌編集委員会)と書かれていました。やはり、宝塔山古墳は仏教とつながっていることが分かって良かったです。格狭間(こうざま)とは「壇の羽目などに彫りこんだ割り形の装飾。」(格狭間・香狭間とは-コトバンク

<https://kotobank.jp/word/%E6%A0%BC%E7%8B%AD%E9%96%93%E3%83%BB%E9%A6%99%E7%8B%AD%E9%96%93-260990>  
2022年8月23日閲覧)というものです。そして宝塔山古墳の石室と比べてみると、下のようになりました。右の図は石塔などに彫り込まれている格狭間を意識して描いたものです。



確かに石棺の下の部分を見てみる格狭間に見えるような、見えないような気がします。右の図の四角の中に入った形のやつを石棺の脚



の部分にあててみると少し似ている気がします。中々こじつけな気がします。仏教とつながっていると思いたいです。結局この石棺の脚に彫り込まれていた格狭間の経緯は分かりませんでした。「総社町誌」があった本棚を通して建物の奥へ行くと、総社古墳群の出土品や資料が展示してある所がありました。そこには左上の写真のような石棺のレプリカや出土品である埴輪やお皿みたいなものなどがありました。総社町の歴史を学べてとても面白かったので、皆さんも是非行ってみてください。

### ③他の古墳との比較

宝塔山古墳と仏教の関わりが分かったので、仏教の関わっていない古墳との違いを調べていきます。

#### ・古墳の大きさ

まずは古墳の大きさを調べていきます。宝塔山古墳は方墳で墳丘全長66m、墳丘高12m、石室全長12.04mの古墳です。「方墳の大きさ」ということに絞って表を作ってみると、下の表のようになります。こうしてみると、宝塔山古墳は墳丘全長60mでなんと第10位です。方墳の中ではかなり大きい方だと思えます。古墳時代の終末期の中で比べても宝塔山古墳はかなり大きいです。それだけ秋元氏が有力者だったか分かりました。

#### ・石棺の形

次は右の表にある古墳時代終末期に造られた方墳と、宝塔山古墳の石棺の形を比べていきたいと思います。まずは竜角寺岩屋古墳から比べていきたいと思ったのですが、中々写真が見つからなかったため、唯一写真があった「愛宕山古墳」（あたごやまこふん）と比べていきます。愛宕山古墳は墳丘全長56m（おそらく）で、7世紀前半に造られたと考えられています。愛宕山古墳の石室と石棺の子は下の写真です。愛宕山古墳の

\	古墳名	墳丘全長	古墳時代
1	柘山古墳	96×90m	中期
2	竜角寺岩屋古墳	80m	終末期
3	越前塚古墳	75×55m	終末期
4	猫塚古墳	63m	中期
5	春日向山古墳	63×60m	終末期
6	山田高塚古墳	63×56m	終末期
7	向臺山古墳	62m	中期
〃	浄元寺山古墳	62m	中期
〃	駄ノ塚古墳	62m	終末期
10	造山古墳	60m	前期
〃	明合古墳	60m	中期
〃	愛宕山古墳	60m	終末期
〃	宝塔山古墳	60m	終末期

玄室の長さだけでも約7mもあり、非常に大きな横穴式石棺です。この石棺も宝塔山古墳と同様





の刳抜式家形石棺です。愛宕山古墳と宝塔山古墳を比べてみたもの



愛宕山古墳の石室と石棺の様子

は上にあります。こうして見てみると、やはり宝塔山古墳などの仏教と繋がっている古墳にだけ脚が格狭間みたいになるように加工されているのだと思います。少し形状は違いますが、家の屋根みたいな石棺の蓋や空気穴みたいなものはほぼ同じになっていて、脚だけが違うのです。

#### 4. まとめ

いままで宝登山古墳や前橋市総社歴史資料館へ行き、宝塔山古墳との大きさや石棺を比べてみました。ここでは【分かったこと】を短い文でまとめていきます。

##### 【分かったこと】

##### ・宝登山古墳と仏教の繋がり

宝登山古墳の石棺は精巧に造られていて、その脚の部分に彫り込まれた格狭間は仏教文化の影響によるものだとされています。

##### ・仏教と関わっていない古墳との違い

宝塔山古墳と同じ年代に造られ、同じ刳抜式家形石棺の愛宕山古墳だとしても愛宕山古墳の石棺には格狭間がなく、仏教が取り入れられている古墳の特徴として「格狭間」があることと考えられます。

#### 5. 感想

東国文化自由研究で「仏教が古墳にもたらした影響」というテーマで追究することができました。初めての東国文化自由研究ですので、最初はどうやって書けばいいのか迷いましたが家族や友達の助けがあり、なんとか完成できて嬉しいです。正直言うと、僕は古墳が好きではありませんでした。ですが、東国文化自由研究をするこ

とにより古墳を好きになりました。これからも、日本の歴史を追究していきたいと思います。

## 6. 参考文献

- ・ 東国の雄 総社古墳群 6 令和3年12月21日 第8刷  
前橋市教育委員会事務局文化財保護課
- ・ ~古代の前橋へタイムスリップ~ よみがえる白鳳の世界へ  
国指定史跡 山王廃寺跡 令和3年6月16日 第12刷  
前橋市教育委員会事務局文化財保護課

- ・ 古墳形状別サイズベスト

<http://www2.odn.ne.jp/kofun/katachibetu.html> 8月28日閲覧